

14. スポーツのチカラを活用した健康まちづくりについて

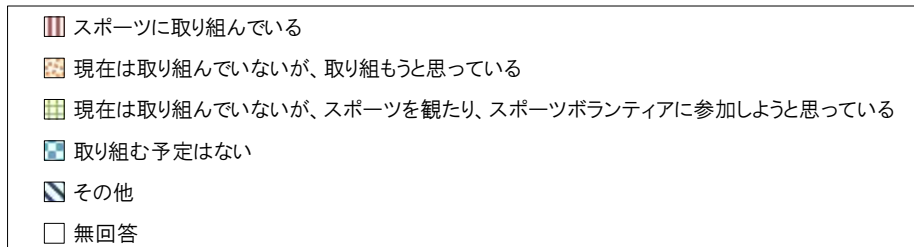
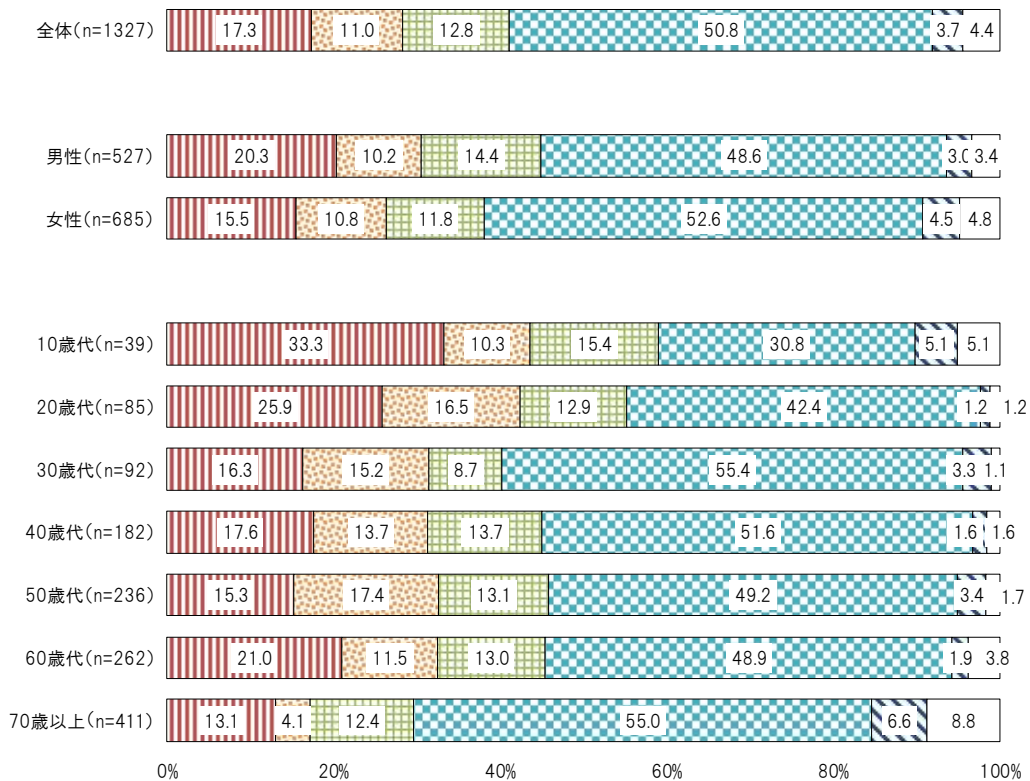
問 50 松阪市では、「伝えたい！スポーツのチカラ」プロジェクトや「みえ松阪マラソン」の開催など、スポーツに関する情報を積極的に発信していますが、最近、あなたはスポーツに取り組んだことがありますか。（○は1つだけ）

「取り組む予定はない」が50.8%と最も高く、次いで「スポーツに取り組んでいる」が17.3%、「現在は取り組んでいないが、スポーツを観たり、スポーツボランティアに参加しようと思っている」が12.8%となっている。

性別にみると、「スポーツに取り組んでいる」が、男性で20.3%、女性で15.5%と男性の方が4.8ポイント高くなっている。一方、「取り組む予定はない」が、男性で48.6%、女性で52.6%と女性の方が4.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、10歳代を除くすべての年代で「取り組む予定はない」が最も高くなっている。一方、10歳代では「スポーツに取り組んでいる」が最も高く3割を超えている。

問50 最近スポーツに取り組んだことがあるか



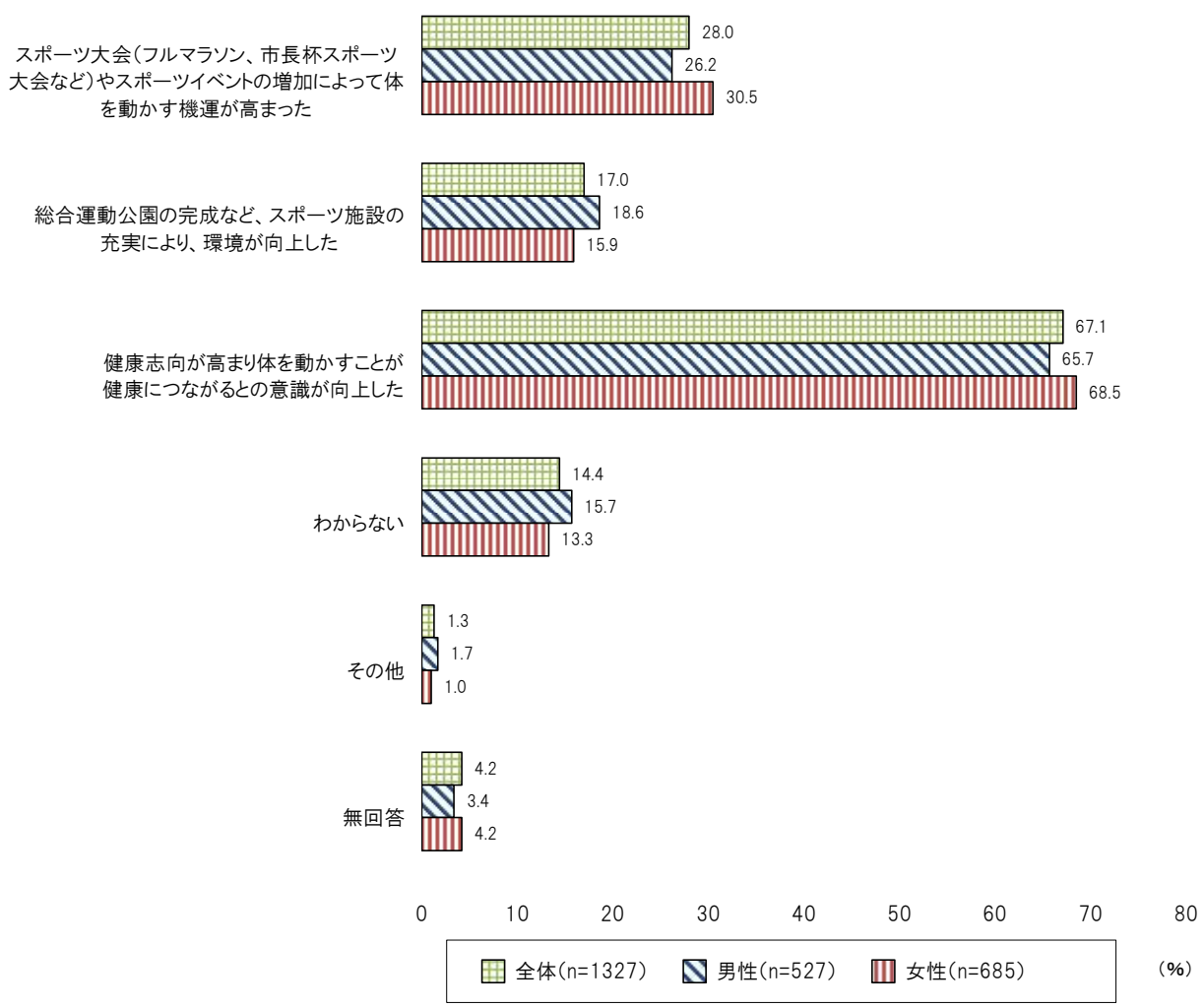
問 51 10年前と比べてスポーツをする市民（20歳以上）の割合が増えています。その要因は何だと思えますか。（〇はいくつでも）

「健康志向が高まり体を動かすことが健康につながるとの意識が向上した」が67.1%と最も高く、次いで「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」が28.0%、「総合運動公園の完成など、スポーツ施設の充実により、環境が向上した」が17.0%となっている。

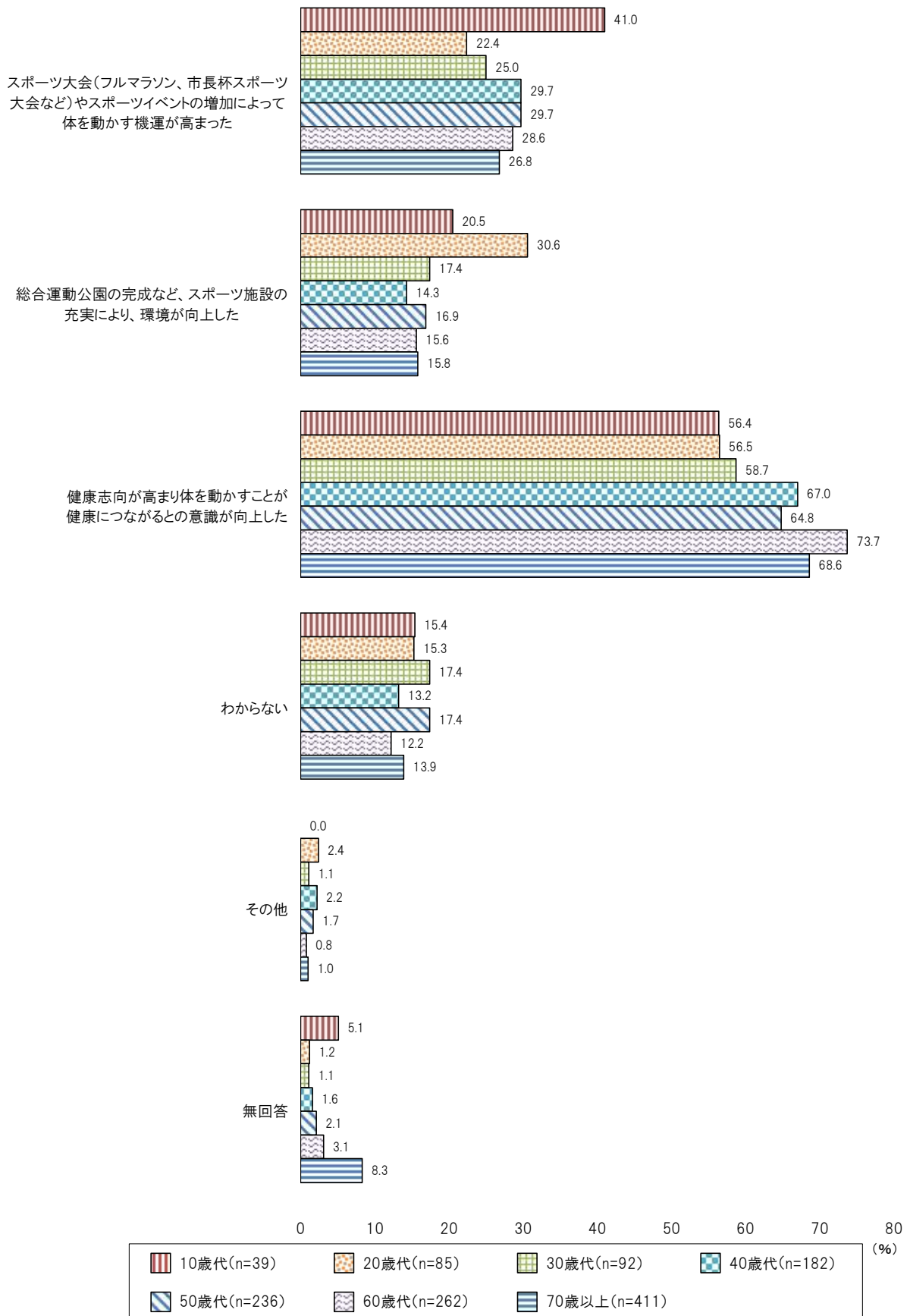
性別にみると、上位3項目については項目、順番いずれも同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」で4.3ポイント女性の方が高くなっているものの、他の項目では大きな差はなかった。

年代別にみると、いずれの年代も「健康志向が高まり体を動かすことが健康につながるとの意識が向上した」の割合が1番目に高くなっている。20歳代は、「総合運動公園の完成など、スポーツ施設の充実により、環境が向上した」が2番目に高くなっており、一方、20歳代以外では「スポーツ大会（フルマラソン、市長杯スポーツ大会など）やスポーツイベントの増加によって体を動かす機運が高まった」が2番目に高くなっている。

問51 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増加している要因は何か



問51 10年前と比べてスポーツをする市民(20歳以上)の割合が増加している要因は何か



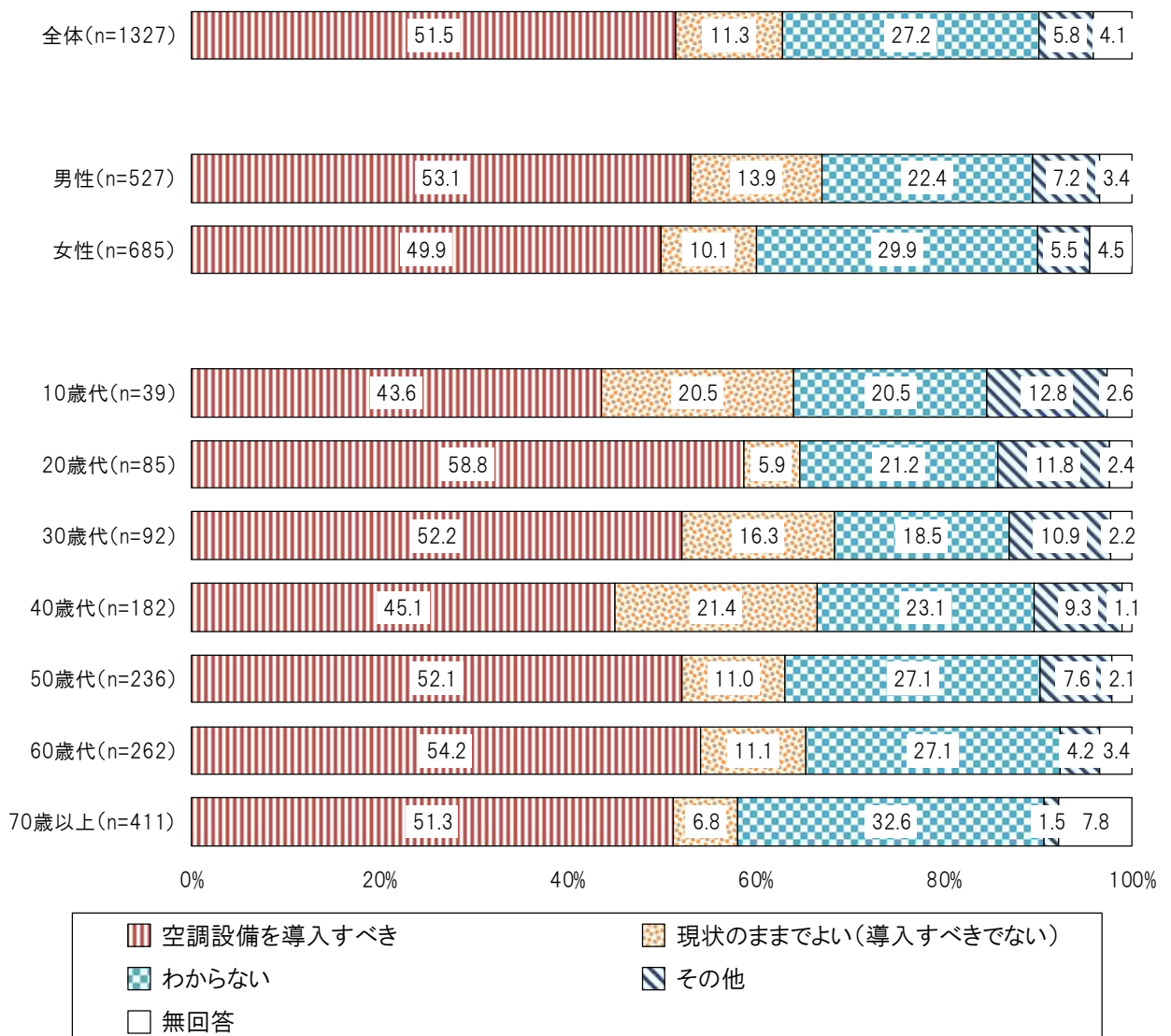
問 52 本市のスポーツ施設は老朽化が進んでおり、特に総合体育館（三十三銀行アリーナ）は昭和50年に建設され約50年が経過しようとしています。同施設は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層にご利用いただいておりますが、アリーナ（体育館）には空調設備がないため、最近の気温上昇により、運動中の熱中症リスクが高まっています。この課題に対処するため、空調設備の導入（経費約3億円）を検討していますが、どのように思われますか。（○は1つだけ）

「空調設備を導入すべき」が51.5%と最も高く、次いで「わからない」が27.2%、「現状のままでよい（導入すべきでない）」が11.3%となっている。

性別にみると、「空調設備を導入すべき」が、男性で53.1%、女性で49.9%と男性の方が3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「現状のままでよい（導入すべきでない）」が10歳代で20.5%、40歳代で21.4%と他の年代に比べ高くなっている。

問52 スポーツ施設に対する空調設備の導入（経費約3億円）についてどう思うか



問 53 松阪市では、スポーツのチカラ「スポーツと連動したまちづくり」の一環として、市民の皆さんと一体となってスポーツボランティアへの参加を通じてスポーツを「支える」喜びを感じ、よりスポーツに親しむことで、さらなる健康づくりにつなげていきたいと考えています。今後も、スポーツイベントを通じてボランティアの機会を増やしていこうと考えていますが、どのように思われますか。（○は1つだけ）

「わからない」が27.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば参加したい」が26.1%、「参加したくない」が17.7%となっている。

性別にみると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合が、男性で36.4%、女性で28.9%と男性の方が7.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合が、20歳代で47.0%と最も高くなっており、次いで10歳代で46.2%となっている。一方、「参加したくない」と「どちらかといえば参加したくない」を合わせた割合が30歳代で42.4%と最も高くなっており、次いで40歳代で39.0%となっている。

問53 スポーツイベントを通じてボランティアの機会を増やすことについてどう思うか

